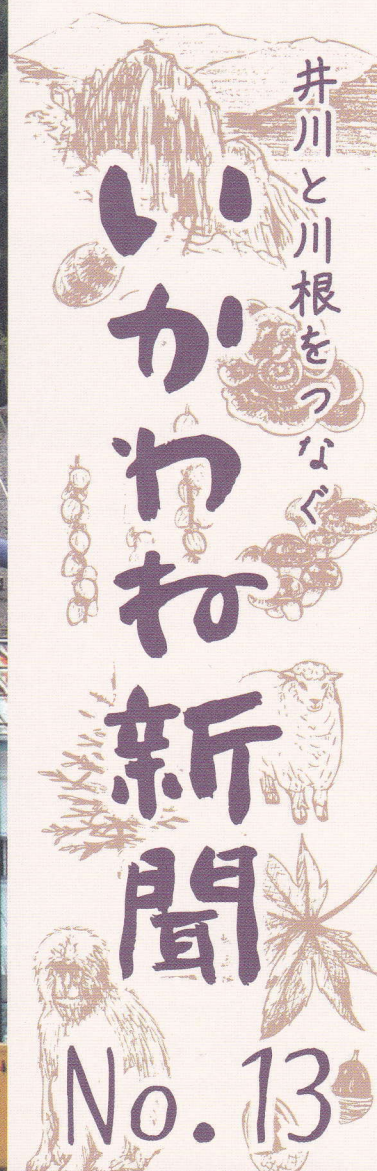




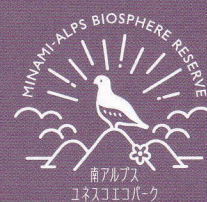
START会場/井川自然の家(林道コーススタート)



FINISH会場/オートキャンプ場(マウンテンコース最後の選手を温かく迎える)



# 自然に感謝 人々に感謝 感じる幸せ



令和元年10月27日(日)、静岡市葵区井川地域で南アルプスユネスコエコパーク井川マウンテンマラソンが開催されました。地域では、長年、秋の風物詩として井川もみじマラソンを開催してきましたが、昨年、35回大会をもってその歴史に幕を閉じました。その後、1年をかけて、南アルプスユネスコエコパーク登録5周年記念にふさわしい、自然との共生理念の普及を融合させる新たな地域行事として、この大会を立ち上げました。当日は市内外から200名の選手と地域住民を含むボランティアスタッフ100名が集まりました。種目は林道コース(17・5km)とマウンテンコース(23・3km)の2種目、選手たちは、自然に対する感謝の言葉が書かれたゼッケンを纏い、井川自然の家をスタート、富士山や南アルプス、井川湖を望むコースを楽しみながら、フィニッシュ会場の南アルプス・井川オートキャンプ場を目指しました。エイドステーションでは、地域食材で作ったお菓子や飲み物で選手を迎え、2つのコースが重なる最後のステーションでは、地域の子どもたちが精いっぱい声援を送る姿がみられました。大会テーマ「自然に感謝。人々に感謝。感じる幸せ。南アルプスで育もう3感。」には、大会に集まるすべての人が自然に感謝し、人の温かさに触れ、共に喜び合うことで、井川ならではの共生文化を創造する願いを込めました。

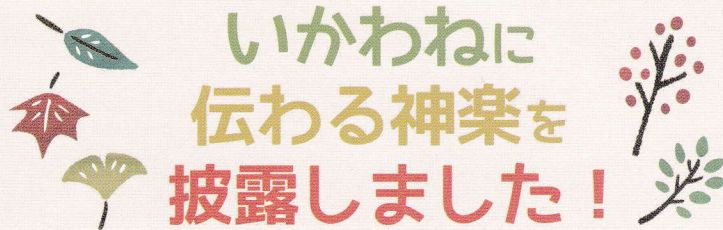




井川神楽保存会 八王子の舞



川根本町徳山古典芸能保存会 五妹龍の舞



井川神楽保存会 金丸の舞



梅ヶ島新田神楽保存会 宇須女の舞

## 大神楽祭2019

保存会が出演しました。

令和元年10月5日(土)、静岡浅間神社で催行された大神楽祭2019には、静岡市内から井川神楽保存会・清澤神楽保存会・梅ヶ島新田神楽保存会、川根本町から川根本町徳山古典芸能保存会・梅津神楽保存会、島田市から笹間神楽

今年度の大神楽祭の特徴は、年齢や国籍、性別を越えた新たな神楽の担い手に堂々とした舞を披露してもらったことや、新しい試みとして、静岡県舞台芸術センター(SPAC)と神楽保存会の共演が実現したことでした。

来場者は2000

人を数え、大勢の観客の前で舞台を披露する良い機会になりました。

オクシズ縁劇祭2019

大神楽祭と同時に開催したオクシズ縁劇祭では、世界から高い評価を受けている静岡県舞台芸術センター(SPAC)とコラボして、オクシズの民話を題材にしたお芝居を5本上演しました。

そのうちの1つが井川に伝わる昔話「てしゃまんく」と浅間さんの石鳥居。三十人力ともいわれる「てしゃまんく」が、知恵と力で静岡浅間神社の石鳥居を軽々と立ててしまったという物語です。芝居を盛り上げる演奏にも井川神楽の音曲が使われ、詰めかけた多くの観客を魅了しました。



SPACによる「てしゃまんく」と浅間さんの石鳥居の上演



## 「井川ダム祭」・「井川神社秋祭」南アルプスユネスコエコパーク登録5周年記念「井川味わい祭」

秋深まる11月3日(日)、井川で毎年恒例の「井川ダム祭」・「井川神社秋祭」が開催されました。

井川ダム祭・井川神社秋祭が行われている井川神社は、昭和33年の井川五郎ダム建設に伴い、5社が1つの神社にまとめられ、設立されました。お祭では、自然の恵みに感謝を捧げる伝統芸能「井川神楽」の奉納をはじめ、住民がお神輿を担いで地域を練り歩くなど、井川の伝統や文化を垣間見ることができました。

さらに今年は南アルプスユネスコエコパーク登録5周年という節目を記念して、井川にしかない在来作物や雑穀など「食」をテーマとした「井川味わい祭」が、井川ビジターセンターで初開催されました。

お祭の目玉は、井川の山・川の幸をふんだんに使ったお弁当の販売と、静岡農業高等学校の生徒及び東海大学短期大学部食物栄養学科の学生が考案した井川のお土産レシピのコンテストです。

お弁当は全3種類、限定110食ということもあり開始1時間で完売。中身はどれも豪華で、井川で育ったアマゴや駿河軍鶏のほか山菜やしいたけの天ぷら、煮物など様々な料理で彩られ、味はもちろん見た目でも来場者を喜ばせていました。

お土産レシピコンテストでは、静岡農業高等学校の生徒が考案した「落花生のマカロン」が1位を獲得し、地元の方々も商品化を熱望するクオリティの高さで



お土産レシピコンテスト参加者の皆様

した。その他、タルト風落花生クッキー、サクッとチョコピーナッツボール、ほもろこしカップケーキなど、在来作物の特徴と風味を生かしつつ、若者の発想で工夫を凝らしたお土産レシピが発表され、試食した方々は、その出来栄にどれも、甲乙つけがたいと、投票先を悩んでいるようでした。今後、井川の新名物になることが期待されます。

そのほか、ネイチャークラフトやつる細工、「井川メンパ」の製作実演、南アルプスの風景写真や特種東海製紙株式会社が製造を始めるウスキー工場の紹介、南アルプスの生きもの缶バッジ作り、子どもに大人気の射的コーナーなどが会場を盛り上げました。



井川神楽の奉納



お神輿渡し

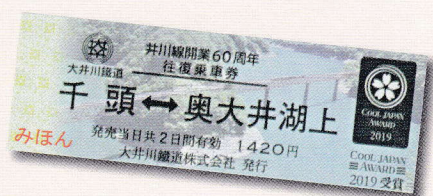


当日限定のお弁当

## 大井川鐵道井川線が60周年を迎えました

いかわとかわねを結ぶ大井川鐵道井川線(南アルプスあぶとライン)が、営業開始60周年を迎えました。1959年に営業運転を開始した井川線は、沿線住民の生活の足として、「エンジン」の愛称で親しまれてきました。近年では主に観光鉄道として活躍し、世界に誇る

日本の観光資源として奥大井湖上駅が「クールジャパンアワード2019」に選出されるなど、国内外から注目を集めています。現在、井川線では60周年を記念して、特別往復乗車券(千頭駅〜奥大井湖上駅)を千頭駅にて販売しています。





# 佐澤山薬師堂

## 60年に一度の大祭

川根本町久野  
脇地区にある佐  
澤山薬師堂では、  
2020年1月  
4日(土)・5日  
(日)に、60年に一  
度の大祭が行わ  
れます。

佐澤山薬師堂  
は、南北朝時代  
像が納められてい

(1333年) 1392年に  
勧請され、1574  
年には武田家に  
よって焼き討ちさ  
れた記録も残って  
います。

毎年の正月には、

御本尊の薬師如来  
像が納められてい



薬師如来像



佐澤山薬師堂



60年前の大祭の様子

### 【開催概要】

<宵祭>令和2年1月4日(土)午後6時~9時  
読経・御祈祷、当番組による接待、大抽選会  
<大祭>令和2年1月5日(日)午前8時~午後3時  
御本尊「薬師如来像」の渡御  
(午前9時にお堂を出発し、三津間地区・久野脇地区の集落内を巡回)

### 【場所】

佐澤山薬師堂(川根本町久野脇地区)  
※駐車場は三津間集会所をご利用ください。

【問】佐澤山薬師堂大祭実行委員会(0547-56-0860)

るお堂を御開帳する例祭が行われ、60年に一度の庚子(かのえね)の年には、御本尊がお堂から出て地区内を渡御(神輿の練り歩き)する大祭が行われてきました。

この大祭は、

焼き討ち後の再建(1604年)以降としては

1660年に初めて行われ、その

伝統は現在まで引き継がれています。

60年前の大祭の様子を詳しく覚えている人はほとんどいないため、お堂に保管されていた文献や写真のほか、風習に詳しい地区内外の方々のお話を参考に、手探りで準備を進めてきました。

見どころはなんといっても、60年ぶりの御本尊の渡御。地区在住・出身者で年齢が60歳の6人が、大八車に乗せた神輿を引き回します。前回の渡御の際にどのようなお囃子や掛け声であったのかは全く分かっていませんが、皆で相談して、ふさわしいものになりたいと考えています。

たくさんの人の記憶に残る大祭となれば、きっと次の60年後にもつながっていくと思います。ぜひ、多くの皆さんに見に来ていただければうれしいです。



佐澤山薬師大祭  
実行委員会

諸田 光夫 委員長

川根本町の北部に位置する大沢地区。藤枝市から移住してきた伊久美さん夫妻は、築150年の古民家を改装し、2019年3月に「川根ライダーハウスやおき」を開業しました。

「やおき」は、バイク愛好家(ライダー)向けのゲストハウスです。隣接する茶工場をガレージとして改装するなど、バイクを愛するご夫妻ならではのおもてなしが特長です。

「立派な古民家と静かな環境に惹かれ、この場所を選びました。」



Vol.13 伊久美 正章さん 緑さん (川根)



実際に住み始めると、集落の皆さんが野菜を分けてくれたり、温かく迎え入れてくれたりして…。ここに移住してきて本当に良かったなあと実感しています」と、緑さんは笑顔で話します。

開業してからまだ半年ですが、すでに全国各地から多くのライダーが訪れ、「いかわねツーリング」の拠点となっています。

「いかわねの山道は走りがいがある、道沿いからたくさんの絶景が見られるのも魅力。疲れを癒してくれる温泉が点在しているのも、お客さんからは好評ですね」と、正章さんは教えてくれました。

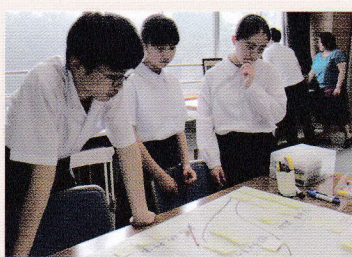
「これからたくさんのライダーを迎え入れ、いかわねの魅力伝えていきたい」と語る伊久美さん夫妻。「いかわね地域をバイクで巡る『スタンプラリー』のようなイベントも企画できれば」と、さらなるおもてなしも思案中です。



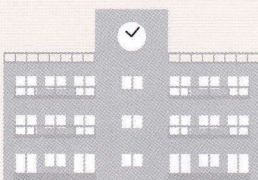
# 井川小中学校

## 「学習発表会」を行います

井川小中学校では、12月7日(土)9時〜11時、井川支所にて「学習発表会」を行います。これまでの総合的な学習の時間の



成果を報告します。中学校三年生は「井川ダム建設による影響と変化」、二年生は「ダムの機能と開発の歴史」と、井川地区にあるダムと人々の生活とのつながり、



ダムの機能や価値について発表します。一年生は「井川在来の雑穀の魅力」について、学習してわかった雑穀の良さをもとに考えた、雑穀を余すことなく味わってもらうための製造や商品化の工夫について発表します。また、小学校六年生は「井川地区の湧水とおいしさと安全性」、五年生は「井川の不思議発見隊・神楽編」と題して発表します。

どの内容も、これまで半年以上にわたって調査学習を続けてきたものです。ぜひ皆さんも会場に来て、井川のまちの良さを私たちと一緒に考えてみませんか。



# いかわねのイベントカレンダー

|     |             |     |                               |
|-----|-------------|-----|-------------------------------|
| 12月 | 28日(土)      | いかわ | リバウェル井川スキー場オープン(予定)〜3月8日(日)まで |
|     | 1日(水)       | いかわ | 小河内 ひよんどり                     |
| 1月  | 4日(土)       | かわね | 佐澤山薬師堂大祭 宵祭                   |
|     | 5日(日)       | かわね | 佐澤山薬師堂大祭 大祭                   |
|     | 12日(日)      | いかわ | リバウェル井川感謝デー                   |
| 2月  | 9日(日)       | いかわ | リバウェル井川雪まつり                   |
| 3月  | 7日(土)・8日(日) | かわね | SLフェスタin千頭                    |
|     | 中旬          | かわね | お茶の里ファミリーマラソン                 |
| 4月  | 上旬          | かわね | 徳山さくら祭り                       |
|     | 中旬          | かわね | 川根茶の日                         |
| 5月  | 4日(月・祝)     | いかわ | あまごの里釣りまつり                    |
|     | 5日(火・祝)     | いかわ | 春まつりinビジターセンター                |

※予定は変更される場合があります。詳しくは下記までお気軽にお問合せください。

井川観光協会  
☎ 054-260-2377  
川根本町まちづくり観光協会  
☎ 0547-59-2746



いかわ

雪で遊ぼう！リバウェル井川！

井川に雪で遊べる施設があるのはご存じですか？それが『リバウェル井川』です！2月に開催される雪まつりは、例年、雪上ポウリング・餅まきなど家族で楽しめるイベントが多彩で、大いに盛り上がります。オープンも間近！この冬はぜひリバウェル井川へ！

令和元年12月28日(土)  
冬季営業開始予定(ゲレンデ状況等により変更の場合あり)

令和2年2月9日(日)  
リバウェル井川雪まつり(荒天の場合は中止)

【問】リバウェル井川 電話:054-260-2316  
【住所】静岡市葵区井川2629-190

これ知ってる？

おすすめイベント

かわね

奥大井湖上駅 星空列車

大井川鐵道井川線では、臨時の夜行列車を運行し、奥大井湖上駅での星空観察会を開催します。真っ暗な秘境駅での星空観賞。非日常なひと時を体験してみませんか？

【開催予定日】  
12月14日(土)21日(土)、1月18日(土)25日(土)、  
2月15日(土)22日(土)、3月14日(土)

【問】南アルプスアプトセンター 電話:0547-59-2137

いかわね新聞 バックナンバー公開中！

■13号まで発行したいかわね新聞のバックナンバーが見られます。

■詳しくは「いかわね新聞」とインターネットで検索してみてください。

【お問い合わせ先】静岡市環境創造課 TEL:054-221-1357



いかわね新聞第13号 2019年12月1日発行(年2回発行)  
発行・南アルプスユネスコエコパーク静岡地域連携協議会  
〒420-8602 静岡市葵区追手町5の1 静岡市環境創造課内  
TEL 054(221)1357

【委員】静岡森林管理署、天竜森林管理署、静岡県、静岡市、川根本町、(株)特種東海フオレスト、中部電力株静岡水力センター、しずてつジャストライン株、川根本町森林林クリエーション推進協議会、自然公園指導員(協力)井川観光協会、川根本町まちづくり観光協会、南アルプス・井川エコツアーリズム推進協議会、一般社団法人エコティかわね

【会の紹介】南アルプスユネスコエコパーク静岡地域連携協議会は、南アルプス周辺地域の自然環境の保全と文化の継承を図り、その持続可能な活用を推進することを目的とした協議会です。※この新聞では、川根本町の情報を「かわね」と表記しています。